

大田区区民協働推進会議活動報告について

1 報告資料

「令和5・6年度 大田区区民協働推進会議活動報告」

2 趣旨

区民協働推進会議では、2年の任期期間中に調査研究活動を行い、活動報告書としてまとめ、区長に提出している。

令和5・6年度においては、「区民活動支援施設が持つ中間支援機能の強化に関する調査研究」をテーマに実施した。

このたび報告書として取りまとめたので、会長より区長に提出する。

3 調査研究概要

(1) テーマ設定の背景

行政と地域の上に立ち、区民活動団体のさまざまな活動を支援する「中間支援」は、大田区では、「区民活動支援施設（こらぼ大森）」「区民活動支援施設蒲田（mics おおた）」がその役割を担っている。

これらの施設は、区民・行政・企業・区民活動団体などの間に入って、区民活動に関する相談や情報収集・提供機能を担っており、今後もそうした機能の充実・強化が望まれている。

今後の区民活動支援施設にどのような中間支援機能が必要か、区民活動団体の活動の拠点として求められるものは何かなど、あらためて検討する必要があり、今回のテーマを設定した。

(2) 活動報告書内容

① アンケート調査

大田区区民活動情報サイト（オーちゃんネット）に登録している区民活動団体374団体に対し、連携・協働の実情把握のための調査を行い、84団体から回答を得た。

② ヒアリング調査

区民活動支援施設の運営状況や課題を聴取することを目的として、施設の管理・運営団体4団体を対象に、対面によるインタビュー形式での調査を行った。

③ 報告内容

行政に求める政策の方向性

- ・ 区民活動団体の持続可能な運営を支える基盤整備

- ・区民活動支援施設の利用促進と認知度向上
- ・区民活動の担い手の確保・育成
- ・政策目的の明確化と実現方法の具体化

(参考) 直近の調査研究テーマ

平成 29・30 年度

地域力応援基金助成事業の見直し、大田区立小・中学校「おやじの会」調査

令和元・2 年度

協働と学びの地域づくり

～社会的包摂による持続可能な地域社会の実現に向けて～

令和 3・4 年度

高齢化・人口減少社会を見据えた連携・協働のあり方に関する調査研究